

令和6年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	29	学校名	不破高等学校
------	----	-----	--------

学校教育目標 (教育方針)	歴史と伝統を誇る学校として、校訓「あかるく、さとく、たくましく」を旨とし、「知・徳・体」の調和のとれた人格の形成を図るとともに、生徒一人一人の個性的で多様な進路の実現を図る。	
3つの方針 (スクールポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的な学力を身に付け、主体的に課題解決に取り組む生徒 ・ 基本的な生活習慣を身に付け、自分と多様な人々の生命の安全と互いの人権を尊重し、規律を守る生徒 ・ 自分に適した進路目標を見つけ、進路実現のための学力とコミュニケーション能力を身に付けた生徒
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的な内容の定着を図るための「学び直し」を実践するとともに、具体的な到達目標の設定と指導内容の重点化を推進 ・ 保護者との連携を図りながら共感的な生徒理解に努め、ユニバーサルデザイン（不破高スタイル）を基礎とした段階的な支援（New不破高スタイル）を実践 ・ 単位制のメリットを活用した5つの類型による教育課程を編成し、進路希望に即した科目選択を充実させ、自己適性の的確な理解に基づく進路目標を実現
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動にコツコツ取り組む生徒 ・ 部活動や生徒会活動、ボランティア活動に積極的に取り組む意欲のある生徒 ・ 学校生活に真摯に取り組み、進路実現を目指そうとする生徒
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が主体的に活動できる授業展開を研究する必要がある ・ 遅刻、欠席等を減らすための継続的な取組をする必要がある ・ F S T（総合的な探究の時間）の内容を精査し、改善し続けていく必要がある 	
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標
	学校経営	生徒の実態や時代の変化に即した、活力ある学校経営の推進
	学習指導	基礎・基本の定着と、ICTを活用した学習活動による主体的な学習態度の育成
	進路指導	地域と連携したキャリア教育や探究活動を通し、将来の自己実現の在り方を考えようとする態度の育成
	生徒指導	基本的な生活習慣を確立し、生命の安全と互いの人権を尊重する規律ある学校づくりの推進

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興基本計画で の位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学校経営	学校運営協議会を中心に、外部の有識者等の意見を積極的に取り入れ、活性化を推進する。	20	施策Ⅳ-20	年3回の学校運営協議会における意見、評価等			
	コミュニティスクールとして、地域との積極的な連携交流を図り、本校の特色を活かした「ふるさと教育」を推進する。	4	施策Ⅰ-4	各種連携交流事業の取り組みに対する自己評価等			
	「演劇ワークショップ」等の活動を通して、コミュニケーション能力や自己肯定感・自己有用感を育成する取組を推進する。	1	施策Ⅰ-1	実施後アンケート結果、生徒向け外部評価等			
	自校型の通級による指導等の充実を図り、高校における特別支援教育を推進する。	21	施策Ⅳ-21	「自立活動」及び「自己探求(学校設定教科)」の自己評価等			
学習指導	基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るため、義務教育段階までの「学び直し」を行うとともに、具体的な到達目標を定め、指導内容の重点化を進める。	8	施策Ⅱ-8	生徒一人一人のつまずきの把握と調査結果の分析			
	少人数授業の利点を活かしながら、ICTを活用した学習活動を積極的に取り入れ、生徒が成就感・達成感を得られるような魅力ある授業づくりに努める。	9	施策Ⅱ-9	生徒からの授業アンケート結果の分析			
	生徒の資質・能力を観点別に評価し、評価の方法についてさらなる改善を図る。	8	施策Ⅱ-8	各教科による学期ごとの評価と成績の変化についての分析			
進路指導	探究活動を通して自ら学ぼうとする姿勢や他者と協働しようとする態度を育成する。	1	施策Ⅰ-1	探究活動の取り組みに対する自己評価等			
	地域の文化や人々との関わりを大切に、その一員として地域に貢献する心を培う。	4	施策Ⅰ-4	企業との連携、高大連携による進路行事の充実			
	基礎的・基本的な学力の定着を図り、自己実現に向けた態度を育成する。	8	施策Ⅱ-8	各種教材等の有効的な利活用			
	自己の適性や可能性を理解し、キャリアプランナーや外部機関と連携したキャリア教育を推進する。	13	施策Ⅱ-13	総合的な探究の時間の充実			
生徒指導	保護者との連携を密にして、全職員の共通理解のもと、身だしなみ・遅刻・授業規律等の学校生活における規範を遵守する態度を養う。	7	施策Ⅰ-7	身だしなみ指導や授業実態の報告内容			
	信頼と愛情に基づく共感的な生徒理解に努め、予防的・共感的教育相談を推進し、いじめや不登校への迅速な対応に努める。	3	施策Ⅰ-3	いじめや不登校に対する対応と報告内容			
	学校・家庭・地域社会が一体となって取り組む体制づくりを整備し、社会参加活動を援助する。	19	施策Ⅲ-19	MSリーダーズ活動の報告内容			
	必要に応じて、個別の教育支援計画を作成し、より細かな支援を実施する。	21	施策Ⅳ-21	個別支援の実施報告内容			

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和7年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和7年 月 日